



平成 22 年 10 月 29 日

各 位

上場会社名 森下仁丹株式会社
代表者 代表取締役社長 駒村 純一
(コード番号 4524)
問合せ先責任者 取締役常務執行役員 武貞 文隆
(TEL 06-6761-1131)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 13 日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 23 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,000	50	50	50	2.46
今回発表予想 (B)	3,713	△102	△88	△88	△4.35
増減額 (B - A)	△287	△152	△138	△138	
増減率 (%)	△7.2	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	3,746	81	77	67	3.34

平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,300	255	250	250	12.28
今回発表予想 (B)	8,000	80	100	100	4.94
増減額 (B - A)	△300	△175	△150	△150	
増減率 (%)	△3.6	△68.6	△60.0	△60.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	7,492	186	180	211	10.38

修正の事由

(平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計連結業績予想)

売上高では、主力製品ビフィーナを除く通販商品の競合激化による影響、新型インフルエンザ関連商品の市場動向およびヘルスケア関連受託商品の一部不具合発生等が影響し、売上高は公表予想値を下回る見込です。

利益面では、新型インフルエンザの急速な収束とともに除菌剤等の衛生対策商品の需要が縮小しており、本来ニーズが高まる秋口にかけても卸小売店からの返品が続いたため、返品商品の廃棄ならびに同商品在庫の評価損等の処理損等 113 百万円を計上したこと等により利益が大幅に減少する見通しとなりました。

なお、カプセル受託事業は円高の影響をうけつつも、受託先の増加ならびにコストダウン努力によりほぼ計画通りの売上高・利益を確保できる見込みです。

(平成 23 年 3 月期通期連結業績予想)

売上高においては第 2 四半期累計の落ち込みをカバーできず、通期の売上高は 80 億円程度に留まる予想です。

利益面においては、カプセル受託事業では円高の影響が続くこと、ヘルスケア事業ではデフレ経済下の価格競争激化が懸念されること、ならびに中長期的見地に立ったプロモーション活動の展開要因により、営業利益、経常利益、当期純利益が当初の予想を下回るものと思われま。

なお、製造原価のコストダウンおよび経費の効率的運用は引き続き積極的に実施し、更なる経営資源の有効活用を積極的に推進してまいります。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第 2 四半期	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成 22 年 5 月 13 日発表)	0.00	5.00	5.00
今回修正予想	—	2.50	2.50
当期実績	0.00		
前期実績 (平成 22 年 3 月期)	0.00	5.00	5.00

修正の理由

当社は、株主さまへの安定的かつ継続的な配当水準の維持を最重要施策のひとつと位置付けており、今年度の 1 株当たりの期末配当を 5 円と予定しておりましたが、今回の業績予想の修正等を総合的に勘案した結果、1 株当たり 2 円 50 銭に修正いたします。なお、中間配当は見送らせていただきます。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済・事業環境の変動等の事業リスクや不確定要因により、予想数字と異なる場合があります。

以上